

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
03503	国民健康保険税課税徴収事務	住民税務課	諸税係	松井 夕起子	伊藤 公一	
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2107	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0230	税務総務事務	
			<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0231	賦課徴収事務
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ		章	(コード選択)	6章	活気に満ちたまちづくり
			節	(コード選択)	5節	地方分権化に積極的に対応する
			項[基本施策]	(コード選択)	652	効率的で健全な行財政運営
主な取り組み			(コード選択)	6528	住民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、諸税課	
関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間		(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明	終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民健康保険の被保険者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

国民健康保険への徴収徴収を適正に行う。国保税率の見直しを行い国民健康保険特別会計の財政の健全化を図る

- 1 国保の得喪により正しく課税をする
- 2 税の徴収を行い、滞納を減少させる
- 3 税収と給付調和を図り、税収の見直しを行う
- 4

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	国民健康保険税納税通知書送付通知数		通	4,316	4,370	4,370	1.00	4,370
	説明	当初課税及び異動による納税通知		目標値設定の根拠	過去の実績の平均から				
②	指標名	督促状送付通知数		通	2,870	2,800	2,800	1.00	2,800
	説明	一年間の督促の通知件数		目標値設定の根拠	過去の実績の平均から				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	国民健康保険税納税徴収率(現年度分)		%	93.40	95.10	95.10	1.00	95.10
	説明	現年度分徴収率		目標値設定の根拠	行革大綱プログラムから				
②	指標名	国民健康保険税納税徴収率(過年度分)		%	12.40	18.70	18.70	1.00	18.70
	説明	過年度分徴収率		目標値設定の根拠	行革大綱プログラムから				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度見込み
			14,544	14,684	14,684
対前年比		%	#DIV/0!	101	100
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			14,544	14,684	14,684
B)一般財源(税金)					
①事業費		(千円)	8,032	8,092	8,092
対前年比		%	#DIV/0!	100.7	100
②人件費の概算		(千円)	6,512	6,592	6,592
対前年比		%	#DIV/0!	101.2	100
			年間人件費	年間人件費	年間人件費
			課長	課長補佐	係長
			一般職員	延べ人数	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23
町職員(正規職員)			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.08 0.08 0.08
臨時職員			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.93 0.93 0.93
			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	1.01 1.01 1.01
			6,512	6,592	6,592
			0	0	0

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか		A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか		A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

国保加入者については、国保税の試算を実施して説明、転入者に対して課税の説明、口座加入の手続き等の説明を実施した。国保税の引き上げにより国民健康保険特別会計の税収と給付の調和を図った

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

国民健康保険税の引き上げを実施したことにより、滞納者対策として短期被保険者証の発行基準を引き上げることにより滞納者の減少を図る

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

税率引き上げ

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

医療費の急激な伸びに現税率では財政維持できず今年度中検討した結果、当面平成23年度予算に税率引き上げすることとした。安定した財政運営を図るため、引き続き適正な課税、徴収に努める。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

➡ 上記 a~e を選択